

郷土を愛する子どもたちを育てる

～人と人とのつながりを大切にする地域～

【宇部市 上宇部中学校区】

地域の概要

上宇部中学校区は、宇部市のほぼ中央に位置し、上宇部小学校区と琴芝小学校区からなっています。校区内には、裁判所や県総合庁舎などの行政庁をはじめ、山口大学工学部、宇部工業高等専門学校、県立・私立高校など教育機関が集まっています。神社・仏閣などもあり、郷土の文化遺産も豊富です。

人口	24,442人	
世帯数	12,283世帯	
対象校及び 児童生徒数	上宇部中学校	475人
	琴芝小学校	391人
	上宇部小学校	653人

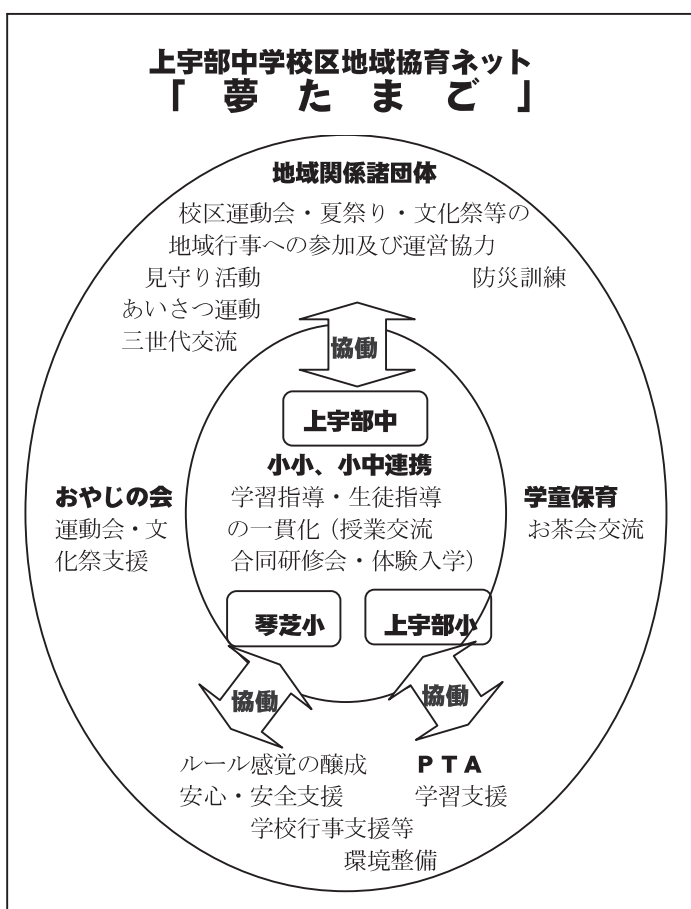
※琴芝小学校は約7割が上宇部中学校に入学

組織の内容

上宇部中学校区では、各小・中学校に学校運営協議会が設置されていますが、「開かれた、信頼される学校」をより実現させるため、「うべ協育ネット」の推進母体として「夢たまごネット推進委員会」を組織しました。

この「夢たまごネット推進委員会」は学校関係者、地域関係者、コーディネーターの17名で構成されており、行政もオブザーバーとして参加しています。

「熟議」の場では、「夢たまごで育む上宇部っ子」というテーマで、特色ある子どもの育ちと、学校・家庭・地域が連携した取組の在り方を話し合うなど、「上宇部中学校区ならではの取組」をめざしています。「熟議」では、校区全体で花壇づくりをし、地域を花でいっぱいにしようということになりました。



特色・重点的な取組

「夢たまごネット」の推進コンセプトは、「連携・参画・貢献・協働」です。児童生徒が、様々な形で地域の方とかわることにより、地域の一員という自覚をもち、ふるさとに愛着をもつことを目標としています。

また中学校では、小中連携、学校と地域の連携への意識を高めるために、「チーム上宇部」の旗を作製し、上宇部中学校区が一丸となるよう取り組んでいます。



主な活動の紹介

～ 小中連携・交流 ～

小・中学校交流行事の一つとして、合同掃除を実施しています。

小・中学校では「掃除に力を入れる」ということを共通方針としています。小学校に中学生が出向き、低学年と一緒に掃除という共同作業をすることで、児童生徒同士の顔の見える協働の取組の一つとなっています。



合同掃除



地域貢献

～ 中学生による地域貢献 ～

地域貢献として、中学生が両小学校区の行事に参加しています。

上宇部小学校区で行われた「空き缶拾い」では、ビンや缶などを拾い集め、分別までの作業を協力して行いました。

また、琴芝小学校区で行われた「大しめ縄づくり」では、校区内の天満宮を飾るしめ縄づくりに協力しました。

どちらの活動も地域の方に大変喜ばれました。

～ 放課後子ども教室 ～

両小学校区では地域の方の協力により、放課後子ども教室を実施しています。

琴芝小学校区では、多くの地域の方にサポートしていただきながら、6泊7日の共同生活を送る宿泊体験活動「通学合宿」を実施しています。中でも、地域の方のお風呂を借りに行く「もらい湯」が、提供者の方と子どもたちの交流の場として好評です。



通学合宿



放課後学習

上宇部小学校区では、毎週水曜日の放課後、小学校の図書室を利用した学習支援を行っています。子どもたちは早々と宿題やプリントを終え、その後は折り紙や読書などで過ごしています。時には、ハロウィンの「おばけかぼちゃづくり」や「クリスマスカードづくり」など、季節に応じて用意されたイベントを楽しみ、異年齢の子ども同士の交流の機会となっています。

成果と課題

地域の方々は、児童生徒とかかわることで地域の活性化につながることを理解されています。また、児童生徒が、地域行事への参加等の地域貢献をすることによって、地域への帰属意識が高まるとともに、地域を学び、地域の方々を知ることによって、より良い関係づくりにつながっています。

今後は、子どもたちが様々な体験を積むことにより、自尊感情や自己有用感を更に高められるように、一層の連携を進めていくことが大切です。

今後の取組

「熟議」の中で、「花壇づくりで地域を花でいっぱいにする」という方向性が示されたので、今後も「熟議」を重ねて、その具現化に向けた仕組みづくりを検討することとしています。

地域をつなぎ、子どもを育むための学校・家庭・地域の連携を進めるためには、コーディネーターの役割がますます重要となるため、今後、コーディネート機能の充実を図りたいと思います。